

毎週日曜発行
2024 12/22

こども新聞
週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



今回は地震火災についてお話しします。地震により引き起こされる建物の倒壊、電気配線のショート、倒れた暖房器具などが主な原因になります。能登半島地震の際に燃え広がった輪島朝市の火災も、建物の倒壊や電気配線が原因になったとされています。

実際に発生する通電火災もありません。地震で散乱した洗濯物や本などの可燃物が、ヒーターや照明器具に触れた状態で、再び熱を発生したときや、地震で損傷した電気コードに通電したときに起きます。

もし、宮城県利府町から村田町まで南北に延びる約40kmの活断層帯「長町―利府線断層帯」で、

冬の夕方に地震があった場合、地震火災により約1万9000棟が焼失し、約930人が犠牲になると見込まれています。

まずは、自分の家は地震に耐える構造か、家具が倒れたり、物が落ちたりするおそれがないかを確認し、リスクがある場所を探してみましょう。地震火災を防ぐためには、建物の耐震化や家具の固定、ヒーターの近くに洗濯物や可燃物を置かないなど、事前に対策を講じることが重要です。

地震火災防ぐためには

地震火災を防ぐためには、建物の耐震化や家具の固定、ヒーターの近くに洗濯物や可燃物を置かないなど、事前に対策を講じることが重要です。地震後に避難する際は、電気のブレーカーを切ることも大切です。

わが家の危険箇所探そう

はやさアドバイザーの学ぼう防災



きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

知ってる? 地震火災の主な原因と対策



事前にチェック!

- 家を出る前にガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを切る
- 避難に車は使わない
- 住まいの耐震性を確保しよう
- 家具等の転倒防止対策をしよう
- ストープ等の暖房機器の周辺に可燃物を置かない
- 感震ブレーカーを設置しよう



大きな揺れで自動OFF!

イラスト・多田健一郎

今週の注目ニュース

◇26日(木) スマトラ沖地震から20年
2004年、インドネシア・スマトラ島沖を震源とするマグニチュード9.1の地震が発生。大津波がインド洋沿岸諸国を襲いました。22万人以上が死亡・行方不明となり、40人の日本人が亡くなりました。

きょうの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 くわしく学べる! こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 かほく防災記者リポート